

さつま町通学路交通安全プログラム
(2014年 策定)
(2018年 改訂)

～通学路の安全確保に関する取組の方針～

平成30年10月

さつま町通学路安全推進会議

1 プログラムの目的

平成24年、全国で登下校中の児童生徒が死傷する事故が相次いで発生したことから、平成24年8月に各小学校の通学路において関係機関と連携して緊急合同点検を実施し、必要な対策内容について関係機関で協議してまいりました。

本町では、これらに基づき平成26年10月に「さつま町通学路交通安全プログラム」を策定しました。また、その推進体制として、通学路における安全対策の関係機関である教育委員会、学校、PTA、警察、道路管理者で構成する「さつま町通学路安全推進会議」を設置し、情報を共有しながら対応に努めているところです。

今後は、自然災害による新たな視点での通学路の安全確保も含め本プログラムを見直し、関係機関が連携して、児童生徒が安全に通学できるように一層の通学路の安全確保に努めてまいります。

2 通学路安全推進会議の連携充実強化

町では、関係機関で構成している「通学路安全推進会議」の連携を充実強化してまいります。本プログラムは、この会議で検討し、適宜、見直しを進めて参ります。

【通学路安全推進会議メンバー】

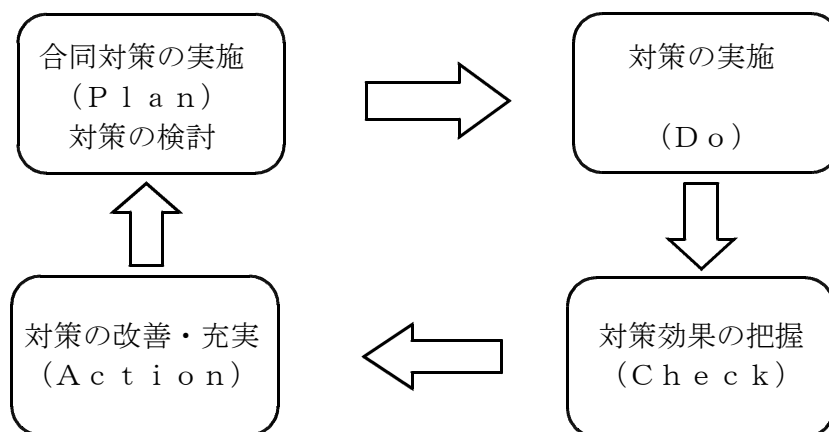
- ・北薩地域振興局建設部土木建築課
- ・さつま警察署交通課
- ・さつま町校長会代表（小学校代表者）
- ・さつま町PTA連絡協議会代表（PTA代表者）
- ・さつま町役場（総務課，建設課，耕地林業課）
- ・さつま町教育委員会

3 取組方針

（1）基本的な考え方

継続的に通学路の安全を確保するため、合同点検の実施・対策の検討，対策の実施，対策効果の把握，その結果を踏まえた対策の改善・充実を一連のサイクルとして取り組んでいきます。

《通学路安全確保のためのPDCAサイクル》



(2) 定期的な合同点検

ア) 合同点検の体制

- ・小学校ごとに、学校、保護者、地域の代表者等が参加する事前合同点検を行い、当推進会議において検討し、必要に応じて道路管理者、警察を含めた合同点検を行います。

イ) 合同点検の実施時期等

- ・小学校ごとに、毎年度前半期までに本プログラムに掲載された当該校区の危険箇所の確認及びその対応の進捗などの点検を実施します。
- ・実施時期は、出水期の危険個所の把握も必要であることから、原則梅雨期後までに実施します。

(3) 対策の検討

合同点検の結果から明らかになった対策の必要な箇所について、箇所ごとに、歩道整備や防護柵設置をはじめとするハード対策や交通規制、交通安全教育等のソフト対策など、必要箇所に応じて具体的な実施メニューを検討します。

(4) 対策の実施

対策の実施にあたっては、対策が円滑に進むよう、関係者間で連携を図ります。対策が講じられるまでの間は、子どもたちへの周知及び指導等による危険回避行動措置などの対策を講じていきます。

(5) 対策効果の把握

合同点検結果に基づく対策実施後の箇所等について、実際に期待した効果が上がっているのか、また児童生徒等が安全になったと感じているのか等を確認するため、

- ・PTA組織や学校評議員会など、学校組織を通じた意見聴取の実施
- ・地域住民へのアンケート等の実施

など、対策実施後の効果を把握するための手法を検討し、対策効果の把握を実施します。

(6) 対策の改善・充実

対策実施後も、合同点検や効果把握の結果を踏まえて、対策内容の改善・充実に努めます。

4 箇所図、箇所一覧表の公表

小学校ごとの点検結果や対策内容については、関係者間で認識を共有するために小学校ごとの「対策一覧表」及び「対策箇所図」を作成し、公表します。

【別添資料】

- 別添① 対策一覧表
- 別添② 対策箇所図

対 策 一 覧 表

【山崎小学校】（第2次町通学路交通安全プログラム危険箇所一覧 P 1）

番号	路線名	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	対策内容	事業主体	対策年度
1	県道392号薩摩山崎停車場線	畜舎付近	幅員が狭小で、大雨時に冠水するなど泥土がたまりやすい。枯木等がせり出している箇所もある。	平成29年度中に改良工事をする旨、連絡を受けている。 幅員が狭小なままなので、大雨や大風の後、枯木や竹がせり出すことが多い。道路拡幅などの抜本的な改修をして欲しい。	県土木部	平成29年度 工事着工のこと

【盈進小学校】（第2次町通学路交通安全プログラム危険箇所一覧 P 1—P 5）

番号	路線名	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	対策内容	事業主体	対策年度
1	赤道線	時吉の嵐鉄工近く	用水路に蓋、転落防止柵がない。幅員も狭小	水路管理が出来なくなるので蓋の設置はできない。防護柵を設置すると幅員が狭いため車両の通行離合ができなくなる。拡幅のため用地買収・家屋移転を伴う改良工事が必要となる。	町 土地改良区	平成27年度 一部防護柵設置 入口近くのみ転落防止柵があるがその他はそのままのため危険である。
2	笠之元線	船木の笠之元神社近く	国道267号に出る際、左折車が見づらい。	拡幅のため用地買収・家屋移転を伴う改良工事が必要となる。分筆登記が困難な土地である。ミラー設置の余地が無い。	町	平成27年度 一部改良中
3	城之口中線 八幡馬場 西ヶ追線	信教寺・屋地楽習館 周辺 信教寺～城之口	道幅が狭く、過去に接触事故も発生。保育園児の送迎車が多い。	拡幅のため家屋移転を伴う改良工事が必要となる。	町	経過観察 通学路の変更も 検討
4	宮之城祁答院線	東内科近く十字路	ホープタウン方面と木原外科方面の峠付近。車の通行も多い。	(県)歩道設置の可能性について調査を行う。 (警)速度規制されていないことから、交通量等を調査の上、規制の実施を検討。基準を満たさない場合は規制の実施は困難	県 警察	経過観察
5	国道267号	川原交差点 宮都大橋近く	信号機、横断歩道はあるが歩行者用青信号の点灯の時間が短い。	車道幅員10mに対し、歩行者用信号機の青色現表示秒数が10秒であり、現状では妥当と考える。	警察	ゾーン30表示 (対応済)
6	盈進小通線	南日本銀行～宮之城駅前	歩道が不明確。通行車両が多い。駅前の横断歩道は、左折、直進、右折車両が混み合うため危険である。	(警)ゾーン30のエリア内であり、今後ゾーン30の推進。 (町)カラー舗装等の対策を道路管理者で検討。	町 警察	ゾーン30表示済み (対応済) 現在道路工事中
7	国道504号線	泊野 三腰商店付近	道路が狭い上に、カーブも多く、車の通りも非常に多い。	ガードレール及び歩道等の設置	県	
8	平川	上宮保育園前河川	雨の時は増水する上、転落防止柵等もないため、児童が転落する危険がある。	転落防止柵の設置	町	
9	平川・泊野	水田	水田脇にイノシシ等の防護柵があり電流が流れているため児童が触れると危険。	別の防護柵の設置	町	
10	盈進小学校前	屋地本町交差点～相良病院前	横断歩道、歩道と車道の境目のラインが半分消えかけていて危険である。	ラインの引き直し	町	
11	国道267号	宮之城屋地みのり園前	側溝にふたがないため、子供が落ちたら危ない。	側溝のふた	県	
12	国道267号	稲津病院前	歩道がないため、通学が危険。	歩道の設置	県	
13	旧鉄道道路	ひかり別館先	崖が崩れてきそう。		町	
14	穴川橋石橋	穴川橋	欄干が低く、児童が身を乗り出して川を見ていることもあり危ない。	安全策	町	

【流水小学校】（第2次町通学路交通安全プログラム危険箇所一覧 P6—P7）

番号	路線名	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	対策内容	事業主体	対策年度
1	国道267号線	吉井製茶工場入口付近	横断歩道がなく、横断時は危険（登下校時に道路横断が必要。）	(警)両サイドがカーブの立ち上がりとなっており見通しが悪く設置は困難。横断歩道設置箇所は現地調査の上検討。	県警察	経過観察
2	国道267号線から流水小へ入る道路	国道267号線から流水小へ入る道路左側	児童の通学路であるが長い区間側溝に蓋がない。	側溝への蓋の設置	町	
3	町道湯田原線	湯之元～鶴田中学校まで	通学路としての歩道整備	ガードパイプやカラー舗装等の安全対策が必要	町	H33年度までに
4	国道267号	福山商店～鶴田中学校まで	通学路としての歩道整備	歩道におけるガードパイプやガードレールの設置	県	H33年度までに

【佐志小学校】（第2次町通学路交通安全プログラム危険箇所一覧 P7—P10）

番号	路線名	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	対策内容	事業主体	対策年度
1	国道504号線	佐志駅前バス停～クボタ営業所間	歩道はあるが、道幅が狭く、ガードレールが無く、交通量が多い。	歩道の拡幅は費用対効果の面から困難。ガードレールを設置すると、歩道が一段と狭くなる。	県	経過観察
2	屋地佐志線	あながわ交差点	横断歩道がなく、横断時は危険	(警)交通量等を調査の上横断歩道の設置を検討。基準を満たさない場合は設置は困難。	町警察	経過観察
3	屋地佐志線	豆漬公民館T字路	停止線、横断歩道もなく、横断時は危険	(警)交通量等を調査の上横断歩道の設置を検討。基準を満たさない場合は設置は困難。	町警察	経過観察
4	佐志本通り線	ほたる公民館横	通学路に沿って用水路があり、柵がなく危険	一部暗渠化と防護柵設置予定 ○ 柵設置により児童の登下校時の安全性が高まった。	町	平成27年度防護柵設置(対応済)
5	内屋敷線	広瀬マヨたこ裏	用水路があり、柵がなく危険	一部防護柵設置予定 ○ 柵設置により児童の登下校時の安全性が高まった。	町	平成27年度防護柵設置(対応済)
6	田原線	田原交差点	交通量も増えているが、横断歩道もなく危険	(警)交通量等を調査の上横断歩道の設置を検討。基準を満たさない場合は設置は困難。	町警察	経過観察
7	宮之城加治木線	木浜～仮屋原間	路側帯の白線も完全に消えているため危険	外側線の再表示。 ○ 路側帯と車道の区分が明確になった。	県	平成26年度外側線表示(対応済)
8	国道504号線	田原交差点	交差点の田原線方面の歩行者横断の信号機の青信号の時間が短い。児童が余裕をもって横断できない。	信号機の「青」の時間帯を長くする。	県警察	
9	国道504号線	田原交差点	車線分離標の間をバイク等の車両が度々通行する。児童の歩行にとって非常に危ない。			
10	佐志本通り線	佐志郵便局近く	郵便局横の側溝に柵がなく危険	柵の設置	町	
11	佐志本通り線	佐志区交流館駐車場入り口車道	車両の停止線がなく危険	停止線の設置	町	
12	佐志本通り線	ほたる公民館横	用水路が大雨の時、あふれ出て、危険	用水路の増幅等	町	
13	町道小川田線	白川田工務店に隣接する斜面	斜面の削れ箇所が多数あり、危険	土砂崩れ等の防止（斜面の改修）	町	
14	佐志本通り線	国道504号から佐志本通りに入った付近	H30.7.17不審者による声かけ事案発生（2名女児）	青パトや警察によるパトロールなどの強化	県警察	不審者発生
15	佐志本通り線	通学路の歩道	段差やくぼみがあり、児童の登下校に危険がともなう。	段差やくぼみをなくし、平坦にする。	町	

【鶴田小学校】（第2次町通学路交通安全プログラム危険箇所一覧 P11—P13）

番号	路線名	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	対策内容	事業主体	対策年度
1	上下大迫線	上下大迫公民会入口 道路左側	歩道に落石有→少	鳥獣防止柵の設置を検討中	町	経過観察
2	新田線	保健センターへ向かう 道路左側	長い区間で側溝に蓋がない。	一部設置予定→蓋が増えているのかどうか確認が難しい	町	経過観察
3	国道267号線	歩道上部の法面崩落	通行規制(通学指導)	法面復旧工事 →完了	県	平成28年度 (対応済)
4	国道267号線	津曲理容店(鶴田3452)入口付近の 側溝	蓋はないが柵は有る 低学年の児童が下校途中にのぞき込む時が有る 大雨時の増水時が心配される (津曲理容店のご主人によれば、気が付いた時は注意して下さっているとのこと)	児童への下校指導のみ?	県	
5	町道宮原坂線及町道鶴田中学校線	神子橋から鶴田中学校まで	車道と歩道の区画が明確でない	学校再編を前に通学路として歩道の確保やガードパイプ及びカラー舗装等の整備	町	H33年度までに
6	町道稲富線	神子橋から町道宮原線まで	車道と歩道の区画が明確でない	学校再編を前に通学路として歩道の確保やガードパイプ及びカラー舗装等の整備	町	H33年度までに

【柏原小学校】（第2次町通学路交通安全プログラム危険箇所一覧 P13—P15）

番号	路線名	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	対策内容	事業主体	対策年度
1	鶴田紫尾定之段線	町営住宅前 農協前	路面が荒廃している。降雨時の排水が悪く、児童へ水ハネがある。	舗装補修。良好	県	平成27年度 (対応済)
2	町道種子田線	諏訪下の用水路	柵がなく危険	柵やガードレールの設置 柵設置済良好	町	平成29年度 (対応済)
3	町	柏原クランドの道路	路面が荒廃している。降雨時の排水が悪く、児童へ水ハネがある。	舗装補修。補修済良好	町	平成30年度 (対応済)
4	鶴田定之段線	岩之上団地 入口三叉路	雨が降ると大きな水溜まりができて、通行困難。 車の水はねもひどい。	路面補修、排水対策	県	
5	鶴田定之段線	紫尾小から小久保商店までの歩道	タイルが盛り上がったたり、沈下したりして歩きづらいところがある。	歩道補修	県	
6	国道267号線の脇	大願寺	ため池があり危険 (一部柵有り)	柵の設置	町	
7	国道267号線	大願寺	歩道の段差やガードレールがなく危険	ガードレール設置	国	
8	町道下手線	小路下手の用水路	柵がなく危険	柵やガードレールの設置	町	
9	町道宮下線	諏訪下三角商店の交差点	停止線で止まらずに出てくる車がある。 ひどいときは、一旦停止もしない車がある。	一旦停止の表示、取り締まりの強化	警察 町	

【求名小学校】（第2次町通学路交通安全プログラム危険箇所一覧 P16）

番号	路線名	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	対策内容	事業主体	対策年度
1	求名交差点～薩摩中学校県道396号線	岩倉建設近くの歩道の柵	歩道の柵が破損している。柵が落ちそうで危ない。	柵の修理	県	平成30年度 (対応済)

【永野小学校】（第2次町通学路交通安全プログラム危険箇所一覧 P16—P17）

番号	路線名	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	対策内容	事業主体	対策年度
1	牧園薩摩線	永野橋 山本金物店より金山側	永野橋の欄干と道路のガードレールに隙間がある（転落の危険） 現在のところ応急対応で問題ない。継続して経過観察を行う。	4箇所中3箇所は対応済み。 残り1箇所は対応策検討中。	県	応急対策 経過観察 (対応済)
2	町道岩元坂元線(薩摩中永野区生徒通学路)	平建設先より池山自動車上に向けての林道	両サイドが樹木で覆われており、見通しが非常に悪く、暗い。 中学生が、不審者に遭遇している。	公民会側の樹木を伐採して、見通しをよくしてほしい。	町	不審者発生
3	504号線(町道)～県道50号線（主要地方道宮之城・牧園線）	観音滝公園入口先からアロン電機まで	歩道(道路側)にガードレールがない。(長い直線道路で、法定速度を超える自動車等が事故等を起こす心配がある。)	歩道の車道側に、ガードレール、またはガードパイプを設置してほしい。	町	
4	504号線(町道)（主要地方道宮之城・牧園線）	観音滝公園入口近く	事故により追突されたガードレールの袖ビームが車道に迫っている。	ガードレールまたは、袖ビームのみでも修理を行ってほしい。	町	

【中津川小学校】（第2次町通学路交通安全プログラム危険箇所一覧 P18—P19）

番号	路線名	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	対策内容	事業主体	対策年度
1	県道薩摩祁答院線	尾付野商店付近十字路から北方橋付近自販機までの約0.3km	幅員が狭く、カーブが多いため見通しが悪い。歩道未整備	町道交差点から新地方面へ140mは道路改良予定(歩道は無し) 保護者と地域に周知し、折を見て草を刈っていただくようにした。	県	平成26年度から 改良工事中
2	県道黒木新地線	県道薩摩祁答院線との丁字路から約0.8km	道幅が狭く、歩道も整備されていないため、車との距離も近く危険。		県	
3	県道薩摩祁答院線	県道薩摩祁答院線と北方川が交差する付近	川縁へぬける道に手すりが無く、足下も見えづらいため落下の危険。		県	